

北九州

8/1

2025
令和7年

**Kitakyushu
Action!**

動かせ、未来。北九州市

市政だより

No.1487 [毎月1日・15日 発行]

主な内容

- 特集1** **1**
戦後80年
- 特集2** **2~3**
世界遺産登録10周年
- トピックス** **4**
●戸籍に記載される氏名振り仮名の通知について
●お盆期間中の救急医療体制 など
- まちがいファイブ **5**
情報ステーション **6~11**
*最終ページは人口データと若松区の情報

特集1 戦後80年

担 平和のまちミュージアム ☎592・9300



～考える・つながる・伝える～
北九州市ピースフィールドクラブ
(愛称:ピーフィ)

平和のまちミュージアムが募集した中学生から30歳までの若い世代が、仲間と共にさまざまな視点から「戦争の悲惨さ」や「平和の大切さ」、「命の尊さ」を学び、自ら行動・発信することを目指し活動しています。

※今年度のメンバー募集は終了しています。



※令和6年度もピースフィールドクラブは多くの人と交流するなどさまざまな活動を行いました。

平和のまちミュージアム

戦前から戦後の
人々の暮らしを
感じる体験型
ミュージアム



▲八幡大空襲や長崎原爆を追体験する360度シアター

施設情報

小倉北区内4-10 ☎592・9300

開 9時30分～18時(入館は17時30分まで)

休 月曜日(祝・休日のときは開館し翌日が休館)

※8月4日(月)・12日(火)・18日(月)は開館

料 一般200円、中学・高校生100円、小学生50円



▲多くの実物資料と最新の映像・音響技術を活用した展示



▲詳細はコチラ

企画展

記憶の表象(カタチ)
—継承とは何か、を問う—

10月13日(祝)
まで

学生が被爆者の記憶や思いに寄り添い描いた原爆の絵ほか、言語以外での表象による継承の取り組みを紹介します。

セッション「記憶をカタチにする」

日時 8月24日(日)13時30分～16時

会場 子ども図書館(小倉北区内)

定 先着80人。申 8月3日10時からネット。

※座席に余裕がある場合は、当日入場も可。



パネラー

原爆の絵を描いた九州産業大学の学生と広島市立基町高校卒業生

作者などによるギャラリートーク

- 8月3日(日)14時～「その気配と面影が、ずっと傍に...」 美術家・春野修二さん
- 8月9日(土)14時～「企画展解説」平和のまちミュージアム館長 重信幸彦
- 8月30日(土)14時～「生きて、繋いで—被爆三世の家族写真—」 写真家・堂畝紘子さん
- 9月7日(日)14時～「原爆の絵／タイトル未定」九州産業大学芸術学部 奥村春香さん
- 9月27日(土)14時～「よんまんひきのしらす」、「原子爆弾と私」九州産業大学大学院芸術研究科 池田菜々香さん

市長からのメッセージ

先の戦争では、北九州地域でも八幡大空襲をはじめ、多くの市民が犠牲になりました。小倉は長崎に原子爆弾が投下される際の第一目標でもありました。

あれから80年。私たちは戦争を経験することなく、平和な日々を過ごしてきました。しかし、今も世界の各地では戦火が続き、かけがえのない命や暮らしが失われています。

過去を知り、平和の尊さを心に刻むことは、今を生きる私たち一人一人に託された大切な責任だと感じています。戦争の記憶に触れ、平和について静かに考える場として、「平和のまちミュージアム」をはじめ、さまざまなイベントを催しております。



北九州市長
武内 和久

市政・生活情報 の問い合わせ

北九州市コールセンター ☎582・4894(1月1日～3日を除く・8時30分～20時) FAX.582・3318

【編集・発行】北九州市広報戦略課 〒803-8501 北九州市小倉北区内1-1 ☎582・2236 【北九州市ホームページ】

